



山陽スピリット ニュース No.15

2019（平成31）年2月28日

発行：学校法人 山陽学園 広報・山陽スピリット推進室

山陽学園での学びとその実践

株式会社ホテルグランヴィア岡山

伏見好子

(山陽学園大学 平成17年卒業)

平成最後の年が明け、気がつけば2月も終わり、3月は卒業式シーズンですね。この3月に卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。

私は中学校から大学まで10年間山陽学園に通い、お世話になりました。大学卒業後は、中学時代より希望していたホテル業界で働いています。

中学に入学した時、教室に上代淑先生の写真が飾ってあり、驚いたことを今でも鮮明に覚えています。山陽学園の歴史を知らなかった中学生の私は、上代淑先生の写真が教室に飾ってあることに違和感を覚えたのだと思います。しかし、その後、中学時代に上代淑先生の録音された声を校内放送で聞き、先生方から山陽学園の歴史や上代淑先生の教えを学び、上代淑先生の偉大さを感じるようになりました。

上代淑先生の教えと言えば、「日々のおしえ」の日めくりの言葉が、まず思い起こされます。日めくりは、皆様にとっても身近なものではないでしょうか。私の家には今も「日々のおしえ」の日めくりがあります。仕事で落ち込んだ時に、日めくりの言葉を目にして、励まされたことも少なくありません。「日々のおしえ」の中で、私が一番好きな言葉は「人のために尽くす事こそ 私達のよろこびである」です。実は、この言葉は、私の仕事のスタンスにも大きく関わっているのです。

私はホテルグランヴィア岡山に就職し、14年目になります。ホテルはお客様が何を求めているか即座に察知し、ご案内やご提供、ご提案をします。ホテルにも色々な部署があり、どの企業にもある、総務



や会計といった、お客様と直接には関わらない部署もありますが、どの部署も一番にお客様のことを考え、そしてホテルで働くスタッフのことを考えて仕事をしています。

私たちは、お客様を笑顔にするために働いていますが、スタッフが自分の仕事を誇りに思い、プロ意識を持っていなければ、お客様に笑顔をお届けできません。ホテルの現場で働くスタッフ同士が互いを尊重し、仕事ができているか、チームワークが鍵になります。しかし、時には意見の衝突もあり、人間関係の難しさに悩むこともあります。そんな時、私は「日々のおしえ」の「あなたの最善 今すぐに」という言葉を思い浮かべ、その時点でベストを尽くせたかを自問自答しています。そうすることで、冷静な自分を取り戻し、また新たな気持ちで仕事に向かうことができます。

私はレストランサービス、ベル・フロントサービス、イベントや広告を担当する企画の経験を経て、

現在は、ブライダルプランナーをしています。異動する度に、仕事を一から覚え、勉強することが大変で、精神的にも肉体的にも疲弊し、何度も仕事を辞めたいと思ったことがあります。ブライダルプランナーとして7年目を迎えますが、今も毎日が勉強の連続です。

どんな仕事でもそうだと思いますが、「ここまですれば良い」ということはないのではないのでしょうか。結婚式や披露宴には色々なカタチがあり、様々な要望があります。ブライダルプランナーが、マニュアル通りの仕事をしていただけでは、お客様に感動を与え、お客様を最高の笑顔にすることはできません。私たちは、お客様の多彩なニーズに可能な限りお応えできるように日々試行錯誤しています。そんな職場で、私が常に心がけているのは、「あたえられた仕事は50センチ向こうまで」という、日めくりの言葉の実践です。お客様の満足度を上げるためには、「求められたことの少し先を読む」ことも必要だからです。

まだまだ若手だと思っていた私も、現在では後輩を指導する立場になっています。私が14年も同じ職場で仕事を続けられているのは、上司や同僚に支えられ、育てられてきたからに他なりません。考えてみれば、私は学生時代も社会人になってからも「愛と奉仕」の精神を学び、実践することに喜びを感じてきたように思います。特に意識したわけではありませんが、知らず知らずのうちに上代淑先生遺訓「日々のおしえ」の言葉に導かれてきたのです。

「スピリットニュース」の執筆依頼を受けた時、自分などに書けることがあるだろうかと思いましたが、原稿をまとめる過程で、これまでの人生を振り

返ることができ、自分が山陽学園で学んだ意味を改めて考えることができました。

今年、卒業される皆様も上代淑先生の「日々のおしえ」を心に留めていただけたらと思います。

2020年に山陽女子中学校・高等学校は、男女共学になります。母校が女子校から男女共学になることを知った際には、驚きとともに正直少し寂しい気持ちもありました。しかし、上代淑先生の教えは、女子教育だけでなく、むしろ人間教育へと発展し、受け継がれて行くべきではないかと考えるようになりました。上代淑先生遺訓「日々のおしえ」は、これからの時代に求められる人材を育てていくためにも、山陽学園がさらなる発展を遂げるためにも必要なものであり、「愛と奉仕」の精神を具現化していくものであり続けることを心から願っています。

----- 【広報・山陽スピリット推進室より】

日めくり「日々のおしえ」は、社会に出て役立つ人間になるようにとの教えを分かりやすい言葉にまとめた、上代淑先生の遺訓です。

大学・短期大学の1年生全員が履修する「知的生き方概論」の授業でアンケートを取り、「日々のおしえ」31の中から好きな言葉を選んでもらいました。

2018 学生が選んだ 「日々のおしえ」ベスト10

- 第1位 さわやかな挨拶 あかるい一日 (4日)
- 第2位 物の命を大切に (26日)
- 第3位 美しい行いは 美しい心から (18日)
- 第4位 広い大空のように ゆたかな心を (31日)
- 第5位 人のために尽くす事こそ 私達のよろこびである (5日)
- 第6位 あたえられた仕事は 50センチ向こうまで (15日)
- 第7位 美しい日は美しい月を 美しい月は美しい年を
美しい年は美しい生涯を (1日)
- 第8位 車掌さんにも 運転手さんにも「ありがとう」 (9日)
- 第9位 与えた親切忘れても 受けた親切大きく感謝 (11日)
- 第10位 素直な心で明るい返事 (22日)



